

兵庫県川西市の高校生、滋賀県大津市の中学生の自殺などが相次いで報道され、いじめ問題に対する社会の関心が高まっています。

全国人権擁護委員連合会では、今年の8月に次のような「いじめ問題に関する緊急メッセージ」を発しました。

「いじめをしている人は、ストレスの解消のつもり、遊び半分でやっているのかもしれない。しかし、相手の人を死に追いやりかねません。自分の人生も取り返しのないものにならねません。絶対にしないでください。している人はすぐにやめてください。」

いじめを受けている人、いじめを見た人、聞いた人は、私たち、人権擁護委員に連絡してください。(中略)

保護者の方も、お子さんを護るために、人権擁護委員を御活用ください。

子どもの未来は人類の未来なのです。この未来を希望に満ちたものになりたい。これが私たちの願いです。」

このメッセージは、いじめによる自殺が社会問題化して

いることを踏まえ、緊急に発せられたものですが、いじめ問題の根絶をめざし、学校・家庭・地域・関係機関等が連携、協力していくことが、今まさに求められています。

西条市では、「人権文化のまちづくり条例」を制定し、一人ひとりを大切にするとともに、かけがえのない命を見つめる人権・同和教育に力を入れてきました。

学校では、「差別しない、差別に負けない、差別を許さない児童・生徒を育てる」とを目標とし、「自尊感情を育てる」「個性を尊重し違いを認める」「仲間意識を育てる」ことなどに取り組んでいます。人権・同和教育の推進が、「いじめをしない、いじめに負けない、いじめを許さない」学級・学校づくりにつながると考えています。

大人の世界にも、さまざまな差別やいじめがありますが、子ども社会は大人社会を映し出したものです。

まず、大人自身がお互いの人権を認め合い、命を大切にすることが、いじめ問題の解決につながるのではないでしょうか。

12月3日(月)～9日(日)「障害者週間」

障害のある人もない人も、家族や住み慣れた地域で支え合い、共に安心して安全に生活を送ることができる環境を整えることが求められています。

障害のある方々と接するときは、勇気を出して「何かお手伝いできることはないでしょうか」の愛の一声運動を推進し、希望に沿った温かい手を差し伸べましょう。

また、家庭では、障害者、高齢者等の福祉や人権問題について話し合い、それらの理解を深めましょう。

次の方々からご厚志をいただきました。心からお礼申し上げます。(順不同 敬称略)

まごころ銀行へ

■個人

- 砂田壽江(三津屋南)
- 故北須賀隆雄(三津屋)
- 長井伸友(国安)
- 村上直之(三芳)
- 杉原俊平(丹原町北田野)

■各種団体

- 生活文化若者塾
- 紅葉ASC第8回歌謡祭
- 玉津小学校
- (株)こっこー
- 西中ナイター利用者協議会

エイズ相談・検査のお知らせ

12月1日～7日は「愛媛エイズ予防週間」です。西条保健所では、通常の検査時間(毎週月曜日10時～11時)以外に、下記のとおり無料・匿名検査および相談を実施します。

(予約不要)

なお、エイズ血液検査結果は血液採取後、約30分でお知らせします。追加・確認検査が必要になった場合、結果は後日、お知らせします。

また当日は、クラミジア抗体検査も行います。結果は後日、お知らせします。

日時 12月3日(月) 10時～19時30分
場所 東予地方局1階
問合せ 西条保健所 TEL0897-56-1300
 (内線319、検査時間中は内線331)

小松地区婦人会に感謝状が贈呈されました

JR四国から、伊予小松駅の美化活動を40年余り続けてきた小松地区婦人会に対し、感謝状が贈呈されました。

この活動は、地区役員が交代で、ホームや駅前にプランターを設置・管理したり、駅周辺を清掃したりするものです。

プランターには四季折々の花が植えられ、駅を利用する人や特急列車の通過待ちで停車する乗客の目を楽しませています。

10月15日には、早馬直樹・新居浜駅長らが小松総合支所を訪れ、三村眞理子会長らに感謝状を贈呈。三村会長は「これからも地元の駅を大切に守りたい」と話していました。

